

研究テーマ GIGA スクール時代の新しい教育に向けて、デジタル機器を活用した新しい学びの提案

I 団体について

【団体の概要】

- 都内公立中学校の教員をもって構成する視聴覚教育研究会
- 中学校視聴覚教育や情報教育の研究・調査ならびにその普及・促進を図ることを目的とし、以下の事業を行う。
 - 1 中学校における視聴覚教育や情報教育に関する研究並びに調査
 - 2 中学校における視聴覚教育や情報教育の普及・促進並びにその施設の拡充に寄与すること
 - 3 関係諸団体との連絡、提携を図ること
 - 4 その目標達成に必要なこと

II 年間活動について

【研究会の活動】

令和5年度の活動は以下のとおりである。

- 1 定期総会（6月17日（土） 会場：墨田区立錦糸中学校）
 - ・前年度の活動報告、本年度活動計画、組織等の承認
 - ・研修会（『デジタルを活用したこれからの学びの提案』）
- 2 夏季研修会①（8月4日（金） 会場：Apple 六本木支社）
 - ・iPadアプリを活用した授業づくり（ワークショップ）
- 3 夏季研修会②（8月8日（火） 会場：墨田区立錦糸中学校）
 - ・Googleアプリを活用した授業づくり（ワークショップ）

- 4 事務局会・研修会（9月3日（土）会場：墨田区立錦糸中学校）
 - ・全国大会、関東甲信越大会での研究発表に向けた協議
 - ・J A E T 青森大会参加の打ち合わせ
 - ・各地区のタブレット活用についての調査、意見交換
- 5 第49回全日本教育工学研究協議会・青森大会（三沢市）（10月27日（金）・28日（土））
 - ・六ヶ所村立第二中学校 授業公開、基調講演、特別講演
 - ・ワークショップ、研究発表、パネルディスカッション
- 6 第27回視聴覚教育全国大会・首都圏大会（11月11日（土）、オンライン）
 - ・セミナー、ワークショップ、実践発表、全体会
- 7 令和5年度関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会 山梨大会（11月17日（金）、オンライン）
 - ・公開授業、分科会、記念講演
- 8 事務局会・研修会（12月2日（土）会場：墨田区立錦糸中学校）
 - ・研究大会に向けた協議、研究紀要の作成準備
 - ・学習支援アプリに関する検討
- 9 Educational Solution Seminar 2023 in 東北（令和5年度 情報教育対応 教員研修全国セミナー 12月26日（火））
- 10 東京都中学校視聴覚教育研究会・研究大会 1月12日（金）
大田区立南六郷中学校にて公開授業・研究協議会・講演会



Ⅲ 第27回視聴覚教育全国大会・首都圏大会での発表

『情報活用能力育成の実践』

～東京モデルをもとにした“#鹿中モデル”作成～

江戸川区立鹿本中学校 教諭 小張 幸宏

1 実践のねらい

(ア) 鹿本中学校の状況(2022年10月時点)

情報活用能力を育成するためのカリキュラムマネジメントなどは行われていなかった。また、区からの情報提供や他校の事例を知る機会もなく、GIGAスクール構想と並行で行われるべき「情報活用能力の育成」に関して、出遅れている状況であった。

(イ) #鹿中モデルの作成

#鹿中モデルは「情報活用能力 #東京モデル」を基に鹿本中学校が独自に作成した、情報活用能力育成のための「ステップ表」である。この表を用いて、生徒の現状把握を行う。また、卒業までに身に付けたいスキルなどを体系的に網羅している。さらに、現状の各教科の取り組みがどのように情報活用能力育成につながっているのか確認することで、「新たに授業で何かをしなければいけない」という負担を少なくしつつ、生徒が情報活用能力を身に付けられるようにするカリキュラムマネジメントの側面をも持ちうると考えた。

2 実践の方法・流れ

(ア) 東京モデルについて

東京モデルの要求する「情報活用能力」は本校の現状に照らし合わせるとういささか高度であると判断した。そこで、本校独自に組織した教員の「情報委員会」において各ステップの該当するスキルについて全面的に見直した。その結果、全体としては東京モデルにおいて中学校1年生相当としているスキルを、中学校3年間で育成することを目指すものとした。

(イ) スキル内容の検討

前述のようなステップの段階の整理に加えて、スキルの内容についても検討した。例えば、昨今叫ばれている「デジタルシティズンシップ」についての視点が抜けていたため、情報モラルと並行して指導して流れとした。

3 実践の結果・考察

鹿中モデルの作成によって、「情報活用能力」のさすスキルが具体的なものとなった。また、それらのスキルをどの学年のどの段階で身に付けていくべきか、議論の材料となるたたき台としての役割を担うことができた。結果的に東京モデルの内容は本校では高度であると判断できたのも、この議論をしたからである。

4 今後に向けて

年間指導計画上に各スキルを位置付けることはできたが、それぞれのスキルが過不足なく育成されているか継続的に評価を行っていく必要がある。また、情報活用能力の育成が生徒の学びの姿としてどのように表れているかを見取る必要がある。

参考文献

情報活用能力 #東京モデル | 情報教育ポータルサイト

https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/tokyo_model.html



Ⅳ 東京都中学校視聴覚教育研究会・研究大会

令和5年度 研究大会

日時：令和6年1月12日(金) 14時～16時30分

場所：大田区立南六郷中学校

内容：公開授業・研究協議会・講演

講演：東京女子体育大学 教育学研究室

教授 石出 勉 先生

<令和5年度連絡先>

団体名		東京都中学校視聴覚教育研究会	
代表者	所属	墨田区立錦糸中学校	
	職 氏名	校長 和田 浩二	
	連絡先	03-3625-0375	
事務局	所属	葛飾区立奥戸中学校	
	職 氏名	主任教諭 木村 諭	
	連絡先	03-3650-1326	
団体ホームページ	URL	https://www.tochushiken.com/	二次元コード
			